

京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバリー2013

～こどものためのオーケストラ入門～

♪ 2013年度のテーマは

『オーケストラ・ア・ラ・カルト』

第1回&第2回

第3回&第4回

いずれも午後2:00開演 (午後1:00開場) 京都コンサートホール・大ホール

京都市営地下鉄丸丸線「北山」駅から徒歩5分

第1回 2013年6月23日 (日) ♪

『アンサンブル&オーケストラ』

小編成のアンサンブルと大編成のオーケストラ、
それぞれの特徴と魅力をききくらべ!

指揮&チェンバロ: 沼尻 竜典
ヴァイオリン: フェデリコ・アゴ스티ーニ
ナビゲーター: ガレッジセール

曲目: モーツァルト: セレナード第13番ト長調
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
K.525から第1楽章

ヴィヴァルディ: 「四季」から、「春」、「夏」
デュカス: 交響詩「魔法使いの弟子」
ラヴェル: 「ダフニスとクロエ」組曲第2番

♪ ロビーイベント: 「アンサンブルってなあに?」



©RYOICHI ARATANI



写真提供: ピクチャーエンタテインメント版

第3回 2013年11月24日 (日) ♪

『和&洋』

♪ ロビーイベント:
「日本の歌&世界の歌」

日本伝統音楽とクラシック音楽、「和」と「洋」
が結びついて作り出される感動の響き!

指揮: 川瀬 賢太郎
尺八: 藤原 道山
笙・ひちりき: 東儀 秀樹
ナビゲーター: ロザン

曲目: 宮城道雄: 春の海 (尺八&ハープ)
モーツァルト: フルート協奏曲第1番ト長調K.313 (285c) から (尺八)
東儀秀樹: 越天楽幻想曲 (笙&ひちりき)
プッチーニ: 歌劇「トゥーランドット」から
「誰も寝てはならぬ」(ひちりき) ほか



©井村重人

第2回 2013年9月29日 (日) ♪

『ジャズ&タンゴ』

ジャズとタンゴ、2つの個性的な音楽と
クラシック音楽の出会いから生まれた名曲を!

指揮: 高関 健
バンドネオン: 三浦 一馬
ナビゲーター: ガレッジセール

曲目: ピアソラ: リベルタンゴ
ピアソラ: バンドネオン協奏曲から
アンダーソン: ジャズ・ピチカート
ガーシュウィン: パリのアメリカ人 ほか

♪ ロビーイベント: 「世界の踊りにチャレンジ!」



©Masahide Sato



写真提供: ピクチャーエンタテインメント版

第4回 2014年3月23日 (日) ♪

『ポップス? クラシック!』

これってポップス?! ポップス音楽になった
クラシック音楽の名曲の数々を!

指揮: 広上 淳一 (常任指揮者)
ホルン: 垣本 昌芳 (京響首席ホルン奏者)
ナビゲーター: ロザン

曲目: ハチャトゥリアン: パレエ組曲「ガイヌ」から「剣の舞」
モーツァルト: ホルン協奏曲第1番二長調K.412 (386b)
プロコフィエフ: パレエ組曲「ロメオとジュリエット」から
「モンタギュー家とキャピュレット家」
ワーグナー: 楽劇「ワルキューレ」第3幕から「ワルキューレの騎行」
マスカーニ: 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
ブラームス: 交響曲第1番ハ短調Op.68から第4楽章

♪ ロビーイベント: 「これであなかも音楽博士!」



Photo: Greg Saylor



2013年度チケット発売のご案内

4回シリーズ通し券 (指定席のみ) (1階、2階L・R席) シリーズ券は1,000円お得!

●チケット料金: おとな (19歳以上) 9,000円/子ども (5歳以上18歳以下) 5,000円
◆4回シリーズ券 発売期間: 2013年3月3日 (日) 午前10時から4月14日 (日) まで

1回券 (指定席・自由席)

指定席 (1階、2階L・R席) ※4回シリーズ券が完売しなかった場合に限り発売

●チケット料金: おとな (19歳以上) 2,500円/子ども (5歳以上18歳以下) 1,500円

自由席 (3階すべて、およびボディウム席 (舞台後方席))

●チケット料金: おとな (19歳以上) 2,000円/子ども (5歳以上18歳以下) 1,000円

◆1回券 発売期間: 2013年4月16日 (火) 午前10時から各公演日まで

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 協賛: ローム株式会社 後援: 京都市教育委員会

チケットお申し込み

チケットは京都コンサートホールで発売!

●電話予約/京都コンサートホール・チケットカウンター (075) 711-3231 (受付時間: 10:00~17:00 第1・3月曜日はお休み)
●オンラインチケット購入 (京都コンサートホール・ホームページから)
<http://www.kyoto-ongeiun.jp/kyotoconcerthall/>

5歳未満のお子様は、託児ルームをご利用ください!
5歳未満のお子様は、会場にお入りいただけません。1歳以上5歳未満のお子様は、託児ルーム (定員あり・10名/お子様お1人につき1回1,000円/各公演1週間前までに京響075-711-3110まで要申込み) をご利用いただけます。

お問合せ: 京都市交響楽団 (075) 711-3110 京響ホームページ: <http://www.kyoto-symphony.jp/>

※年齢はすべて、2013年4月2日時点での年齢です。
※都合により、曲目、出演者等を変更する場合があります。
※発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

目次から

文化力

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

ROHM Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM
SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団 オーケストラ・ディスカバリー2013

2013年度の「オーケストラ・ディスカバリー」は、「オーケストラ・ア・ラ・カルト」をテーマに、常任指揮者・広上淳一をはじめとする4人のすてきな指揮者と豪華なアーティストを迎えて、クラシック音楽のもつさまざまな可能性を、名曲の演奏と楽しいお話とともにお聴きいただきます。バラエティ豊かなオーケストラの世界を、親子そろってたっぷりとお楽しみください！

第1回



指揮&チェンバロ **沼尻 竜典**

東京生まれ。桐朋学園大学で指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、作曲を三善晃、ピアノを徳丸聡子、藤井一興の各氏に師事。89年渡独後はベルリン国立芸術大学でハンス＝マルティン・ラーベンシュタイン教授に師事。90年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。日本フィル正指揮者を歴任し、07年春よりびわ湖ホール芸術監督。08年4月より大阪センチュリー響首席客演指揮者。10年5月より群馬響首席指揮者兼アーティストティック・アドバイザーに就任。各国のオーケストラに客演するほか、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、シドニー歌劇場、新国立劇場など数々のオペラ公演も指揮。現代音楽にも深い理解と造詣を持ち、数多くの日本初演を手掛けている。2013年8月よりドイツ・リュベック歌劇場音楽総監督に就任決定。



©RYOICHI ARATANI



ヴァイオリン **フェデリコ・アグスティニ**

イタリアのトリエステ生まれ。音楽家の家庭に育ち、6歳からヴァイオリンを始めてトリエステとベネチアの音楽院、シエナのキジアナ音楽院で学び、S.アッカドや叔父F.グッリらに師事。16歳でモーツァルトの協奏曲を弾いてデビュー。その後数多くのコンクールに優勝・入賞し国際的に輝かしい活動を開始。86年からはイ・ムジチ合奏団のコンサートマスターを務めた。室内楽奏者としての活躍も目覚ましく、世界の名だたるアーティストと共演。CDはバッハやヴィヴァルディの協奏曲集など数多い。指導者としても定評があり、世界各地でマスタークラスを開催する他、各地の音楽祭にも招待されている。2012年よりニューヨーク州イーストマン音楽院教授。

第2回



指揮 **高関 健**

1977年カラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。ベルリンでカラヤン氏のアシスタントを務め、タンブルウッド音楽祭でもパーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けた。日本のオーケストラはもとより、ウィーン響、オスロ・フィル、ベルリン・ドイツ響、クラフツフォーラム・ウィーン、ケルン放送響などに客演。2013年2月にはロシアのサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会への出演が決まっている。2009年のブルーズ京都賞受賞記念ワークショップではブルーズ氏から、2012年の別府アルゲリッチ音楽祭でのシチュロソソ作品日本初演では、ソリストのアルゲリッチ氏、マイスキー氏からその演奏を絶賛されるなど、聴衆はもとよりソリストからの信頼も厚い。東京芸術大学音楽学部指揮科招聘教授。twitter.com/KenTakaseki



©Masahide Sato



写真提供：ピクチャーエントテインメント

バンドネオン **三浦 一馬**

1990年東京生まれ。10歳でバンドネオンを始め、小松亮太に師事。06年別府アルゲリッチ音楽祭でバンドネオン界の最高峰N.マルコーニ氏と出会い、その後自作CDの売上から渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで氏に師事。08年イタリアにおける第33回国際ピアノ・コンクールで日本人初、史上最年少準優勝。09年『タンゴ・スイート』でCDデビュー。11年別府アルゲリッチ音楽祭でアルゲリッチ女史やバシメット氏らと共演。テレビ、ラジオ出演も多数。セカンド・アルバム『ブエノスアイレスの四季』はレコード芸術誌で特選盤に推薦される。現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。オフィシャルサイト <http://kazumamiura.com/>

第1回&第2回ナビゲーター **ガレッジセール**



第3回&第4回ナビゲーター **ロザン**



第3回



指揮 **川瀬 賢太郎**

1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、07年東京音楽大学音楽学部音楽学作曲指揮専攻（指揮）卒業。これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、チョン・ミョンフン、アーリル・レンメライトの各氏に師事。06年東京国際音楽コンクール（指揮）1位なしの2位（最高位）入賞。以後、東響、日本フィル、読売日響などのオーケストラから次々に招きを受ける。また群馬響、東京フィル、名古屋フィルの各定期公演にデビュー。海外でも08年に引き続き11年にもイル・ド・フランス国立管と共演。07年～09年パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）アシスタント・コンダクター。11年4月より名古屋フィル指揮者に就任。



©井村聖人



尺八 **藤原 道山**

10歳より尺八を始め、人間国宝・山本邦山に師事。東京芸術大学大学院音楽研究科修了。01年アルバム「UTA」でCDデビュー。以来、山本邦山作品集「讃-SAN-」、ウィーンでレコーディングを行ったシュトイデ弦楽四重奏団との共演アルバム「FESTA」他計12枚を発表。07年、チェロ（古川展生）、ピアノ（妹尾武）とともにユニット「KOBUDO-古武道-」を結成。アルバムを4枚制作し、コンサートツアーを行う。その他、ソロ活動では、映画「武士の一分」でゲストミュージシャンとして音楽に参加。「ろくでなし啄木」（三谷幸喜作・演出）、日英共同制作ダンス作品「鶴」（ウィル・タケット演出/振付、首藤康之主演）など舞台音楽も手がける。<http://www.dozan.jp>



笙&ひちりき **東儀 秀樹**

1959年東京生まれ。東儀家は、奈良時代から今日まで1400年間雅楽を世襲してきた楽家である。幼少期を海外で過ごし、高校卒業後、宮内庁楽部で筆簾（ひちりき）を主に、琵琶、鼓類、歌、舞、チェロを担当。宮中儀式や皇居の雅楽演奏会などに出演するほか、海外公演にも参加。日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。その一方で、ピアノやシンセサイザーとともに雅楽の持ち味を生かした独自の曲の創作にも情熱を傾ける。アジアとの交流に高く寄与していることが評価され、文化庁より芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。東日本大震災に対するチャリティ活動も積極的に参加及びコンサートなどを企画。特に子供たちにむけて支援を続けている。



第4回



指揮 **広上 淳一**（京響常任指揮者）

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学ぶ。第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝し、国際的な活動を開始。91～95年ノールショッピング響首席指揮者、91～00年日本フィル正指揮者、97～01年ロイヤル・リヴァプール・フィル首席客演指揮者、98～00年リンブルグ響首席指揮者、06～08年米田コロバス響音楽監督を歴任。07年サイトウ・キネン・フェスティバル松本に招聘され、08年小澤征爾の代役で急遽水戸室内管定期演奏会を指揮、聴衆、批評家から絶賛された。オペラの分野でも国内外で活躍し、最近では新国立劇場《椿姫》、日生劇場《フィガロの結婚》が記憶に新しい。13年1月「第32回藤堂音楽賞」受賞。東京音楽大学教授。08年4月から京都市交響楽団常任指揮者。



©K.Miura



ホルン **垣本 昌芳**（京響首席ホルン奏者）

兵庫県尼崎市出身。16歳よりホルン始める。1996年、大阪教育大学教育学部教養学科芸術専攻音楽コースを卒業。在学中に、ソリストとして、R.シュトラウス作曲ホルン協奏曲第1番を同大学オーケストラと共演する。1996年ヤマハ音楽系新人演奏会に出演。1996年アジア・コース・オーケストラのコンサートツアーに参加。1999年1月、関西フィルハーモニー管弦楽団に3・1番ホルン奏者として入団。同団を経て2006年4月、京都市交響楽団に首席ホルン奏者として入団。現在に至る。これまでに、ホルンを野田肇一・守山光三の両氏に師事。早稲田陵南高等学校吹奏楽コース、大阪国際滝井高等学校吹奏楽コース、大阪教育大学音楽コースのホルン非常勤講師。

京都市交響楽団

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」等を受賞。08年4月第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任。10年に広上淳一指揮ライブ録音CD第1弾、12年にはCD第2弾を発売。半世紀という節目を経て、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

